

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-143472

(P2010-143472A)

(43) 公開日 平成22年7月1日(2010.7.1)

(51) Int.Cl.
B60N 3/04 (2006.01)F1
B60N 3/04テーマコード (参考)
3B088

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2008-324218 (P2008-324218)
(22) 出願日 平成20年12月19日 (2008.12.19)(71) 出願人 000002967
ダイハツ工業株式会社
大阪府池田市ダイハツ町1番1号
(74) 代理人 100084272
弁理士 澤田 忠雄
(72) 発明者 丸尾 昌弘
大阪府池田市桃園2丁目1番1号 ダイハツ工業株式会社内
(72) 発明者 田中 晋司
大阪府池田市桃園2丁目1番1号 ダイハツ工業株式会社内
Fターム(参考) 3B088 FA03 FC01

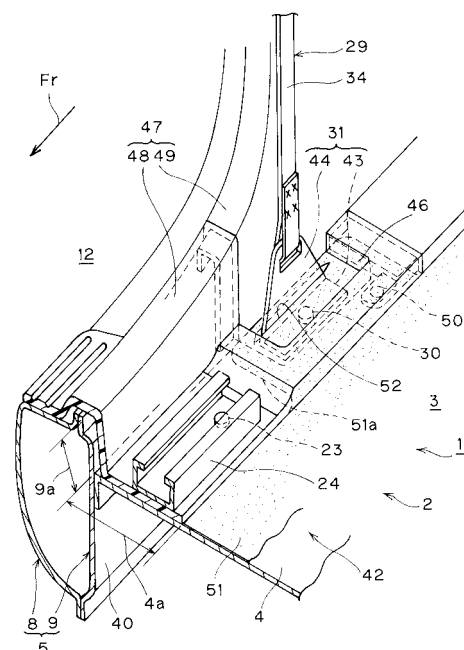
(54) 【発明の名称】 車両における車室構造

(57) 【要約】

【課題】車室下部パネルに対するアンカの結合部が車室内から容易には見えないようにして、車室の見栄えを向上させると共に、車室の見栄えの向上が簡単な構成で達成されるようにする。

【解決手段】車両における車室構造は、車室3の下部を形成する車室下部パネル42と、車室下部パネル42の外側縁部から車室3内に向かって突出し、その突出部44にシートベルト34の一端部が連結されるアンカ31と、車室下部パネル42の外側縁部を覆い、アンカ31の突出部44を貫通させる開口46が形成されたトリム47と、車室下部パネル42の上面に、そのほぼ全体にわたり敷設されるカーペット51とを備える。車室下部パネル42の外側縁部とトリム47との間にカーペット51の一部分51aを介設し、カーペット51の一部分51aにアンカ31の突出部44を貫通させる貫通口52を形成する。

【選択図】図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

車室の下部を形成する車室下部パネルと、この車室下部パネルの外側縁部から上記車室内に向かって突出し、その突出部にシートベルトの一端部が連結されるアンカと、上記車室下部パネルの外側縁部を覆い、上記アンカの突出部を貫通させる開口が形成されたトリムと、上記車室下部パネルの上面に、そのほぼ全体にわたり敷設されるカーペットとを備えた車両における車室構造において、

上記車室下部パネルの外側縁部と上記トリムとの間に上記カーペットの一部分を介設し、このカーペットの一部分に上記アンカの突出部を貫通させる貫通口を形成したことを特徴とする車両における車室構造。

10

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、車室の下部を形成するフロアパネルなど車室下部パネルから車室内に向かって突出し、その突出部にシートベルトの一端部が連結されるアンカを備えた車両における車室構造に関するものである。

【背景技術】**【0002】**

上記車両における車室構造には、従来、下記特許文献 1 に示されるものがある。この公報のものによれば、車両における車室構造は、車室の下部を形成する車室下部パネルを備え、この車室下部パネルは、車室の下面を形成するフロアパネルと、このフロアパネルの外側縁部に結合されたホイルハウスと、上記フロアパネルの外側縁部の上面に設置されたスカッフプレートとを備えている。

20

【0003】

また、車両の幅方向で、上記ホイルハウスとスカッフプレートとの間に位置する上記フロアパネルの部分から車室内に向かって突出し、その突出部にシートベルトの一端部が連結されるアンカが設けられている。そして、上記シートベルトはその一端部から上記ホイルハウスとスカッフプレートとの間の隙間を通して車室内に延び、車両の走行時、シートへの着座者を上記シート上に拘束可能とする。

【特許文献 1】特開 2008 - 189281 号公報

30

【発明の開示】**【発明が解決しようとする課題】****【0004】**

ところで、上記従来の技術では、上記フロアパネルに対するアンカの結合部は、上記隙間を通して車室側から容易に見え得る状態にある。そして、上記結合部が見えることによって、車室の見栄えが低下するという問題点がある。

【0005】

そこで、上記隙間をガーニッシュで覆うことにより車室の見栄えを向上させることが考えられる。しかし、単に、このようにすると、車室構造の部品点数が多くなって、その構成が複雑になるという不都合を生じる。

40

【課題を解決するための手段】**【0006】**

本発明は、上記のような事情に注目してなされたもので、本発明の目的は、車室下部パネルに対するアンカの結合部が車室内から容易には見えないようにして、車室の見栄えを向上させると共に、この車室の見栄えの向上が簡単な構成で達成されるようにすることである。

【0007】

請求項 1 の発明は、車室 3 の下部を形成する車室下部パネル 42 と、この車室下部パネル 42 の外側縁部から上記車室 3 内に向かって突出し、その突出部 44 にシートベルト 34 の一端部が連結されるアンカ 31 と、上記車室下部パネル 42 の外側縁部を覆い、上記

50

アンカ 3 1 の突出部 4 4 を貫通させる開口 4 6 が形成されたトリム 4 7 と、上記車室下部パネル 4 2 の上面に、そのほぼ全体にわたり敷設されるカーペット 5 1 とを備えた車両における車室構造において、

上記車室下部パネル 4 2 の外側縁部と上記トリム 4 7 との間に上記カーペット 5 1 の一部分 5 1 a を介設し、このカーペット 5 1 の一部分 5 1 a に上記アンカ 3 1 の突出部 4 4 を貫通させる貫通口 5 2 を形成したことを特徴とする車両における車室構造である。

【 0 0 0 8 】

なお、この項において、上記各用語に付記した符号や図面番号は、本発明の技術的範囲を後述の「実施例」の項や図面の内容に限定解釈するものではない。

【発明の効果】

10

【 0 0 0 9 】

本発明による効果は、次の如くである。

【 0 0 1 0 】

請求項 1 の発明は、車室の下部を形成する車室下部パネルと、この車室下部パネルの外側縁部から上記車室内に向かって突出し、その突出部にシートベルトの一端部が連結されるアンカと、上記車室下部パネルの外側縁部を覆い、上記アンカの突出部を貫通させる開口が形成されたトリムと、上記車室下部パネルの上面に、そのほぼ全体にわたり敷設されるカーペットとを備えた車両における車室構造において、

上記車室下部パネルの外側縁部と上記トリムとの間に上記カーペットの一部分を介設し、このカーペットの一部分に上記アンカの突出部を貫通させる貫通口を形成している。

20

【 0 0 1 1 】

このため、上記車室下部パネルに対するシートベルト用アンカの結合部が車室内から容易に見えることは、上記カーペットの一部分によって防止される。よって、この車室の見栄えが向上する。

【 0 0 1 2 】

また、上記したアンカの結合部が車室内から容易に見えないようにすることは、車室下部パネルの上面に敷設されるカーペットの一部分を利用したものであることから、部品点数の増加が抑制される。よって、上記車室の見栄えの向上は簡単な構成で達成される。

【発明を実施するための最良の形態】

【 0 0 1 3 】

30

本発明の車両における車室構造に関し、車室下部パネルに対するアンカの結合部が車室内から容易には見えないようにして、車室の見栄えを向上させると共に、この車室の見栄えの向上が簡単な構成で達成されるようにする、という目的を実現するため、本発明を実施するための最良の形態は、次の如くである。

【 0 0 1 4 】

即ち、車両における車室構造は、車室の下部を形成する車室下部パネルと、この車室下部パネルの外側縁部から上記車室内に向かって突出し、その突出部にシートベルトの一端部が連結されるアンカと、上記車室下部パネルの外側縁部を覆い、上記アンカの突出部を貫通させる開口が形成されたトリムと、上記車室下部パネルの上面に、そのほぼ全体にわたり敷設されるカーペットとを備える。

40

【 0 0 1 5 】

上記車室下部パネルの外側縁部と上記トリムとの間に上記カーペットの一部分が介設され、このカーペットの一部分に上記アンカの突出部を貫通させる貫通口が形成されている。

【実施例 1】

【 0 0 1 6 】

本発明をより詳細に説明するために、その実施例 1 を添付の図 1 ～ 3 に従って説明する。

【 0 0 1 7 】

図 2 において、符号 1 は自動車で例示される車両であり、矢印 F r は、この車両 1 の進

50

行方向の前方を示している。

【 0 0 1 8 】

上記車両 1 の車体 2 の内部が車室 3 とされる。上記車体 2 は、車室 3 の下面を形成する板金製のフロアパネル 4 と、側面を形成する板金製の側壁 5 と、上面を形成する天井板 6 とを備えている。また、上記側壁 5 は、車両 1 の幅方向で対面して互いに結合されるアウト、インナパネル 8 , 9 を備えている。

【 0 0 1 9 】

上記側壁 5 には、車室 3 の内外を連通させる前、後ドア開口 1 1 , 1 2 が形成され、これら各ドア開口 1 1 , 1 2 をそれぞれ開閉可能に閉じる前、後サイドドア 1 3 , 1 4 が設けられている。その他、1 6 はフロントウィンド、1 7 はリヤウィンドである。

10

【 0 0 2 0 】

上記側壁 5 に沿って車室 3 の前部から後部に向かい上記フロアパネル 4 上にフロントシート 1 9、リヤシート 2 0、および他のリヤシート 2 1 が順次設置されている。車両 1 の幅方向で、上記前ドア開口 1 1 とフロントシート 1 9 とが互いに対応し、上記後ドア開口 1 2 とリヤシート 2 0 とが互いに対応している。

【 0 0 2 1 】

上記リヤシート 2 0 は、上記フロアパネル 4 上に締結具 2 3 により固着されるシートレール 2 4 と、このシートレール 2 4 に前後に移動可能に支持されるシートクッション 2 5 と、このシートクッション 2 5 の後端部から上方に向かって突出するシートバック 2 6 とを備えている。

20

【 0 0 2 2 】

上記リヤシート 2 0 上に着座者を拘束可能とする三点式のシートベルト装置 2 9 が設けられている。このシートベルト装置 2 9 は、上記リヤシート 2 0 のシートクッション 2 5 の上記側壁 5 側における後側方で上記フロアパネル 4 の外側縁部 4 a に締結具 3 0 により固着されるアンカ 3 1 と、上記リヤシート 2 0 のシートバック 2 6 の上端部の側方における上記側壁 5 のインナパネル 9 に固着されるショルダアンカ 3 2 と、上記アンカ 3 1 の後方で上記側壁 5 のインナパネル 9 に支持される E L R タイプのリトラクタ 3 3 と、長手方向の一端部が上記アンカ 3 1 に連結され、他端部が上記リトラクタ 3 3 に巻き取り可能とされ、その長手方向の中途部が上記ショルダアンカ 3 2 に摺動可能に掛合されるシートベルト 3 4 とを備えている。

30

【 0 0 2 3 】

また、上記シートベルト装置 2 9 は、上記アンカ 3 1 からショルダアンカ 3 2 に至るシートベルト 3 4 の中途部に摺動可能に掛合されるタングプレート 3 6 と、上記リヤシート 2 0 の上記側壁 5 とは反対側の側方位置で上記フロアパネル 4 側に固着されて、上記タングプレート 3 6 を係脱可能に係止するバックル 3 7 とを備えている。

【 0 0 2 4 】

そして、上記リヤシート 2 0 上に着座者が着座した状態で、上記リトラクタ 3 3 からシートベルト 3 4 を引き出して、上記タングプレート 3 6 をバックル 3 7 に係止させ、次に、上記リトラクタ 3 3 にシートベルト 3 4 を巻き取らせれば、着座者は上記リヤシート 2 0 上に上記シートベルト 3 4 により拘束される。

40

【 0 0 2 5 】

上記フロントシート 1 9 と他のリヤシート 2 1 とは、上記リヤシート 2 0 と同様にシートクッションやシートバックを備え、また、これらフロントシート 1 9 や他のリヤシート 2 1 にも上記シートベルト装置 2 9 と同構成のシートベルト装置 2 9 が設けられる。

【 0 0 2 6 】

図 1 ~ 3 において、上記後ドア開口 1 2 の下部開口縁部は、上記側壁 5 の下端縁部により形成される閉断面構造とされ、これはロッカ 4 0 といわれるものである。上記車室 3 の下部を形成する車室下部パネル 4 2 は、上記フロアパネル 4 と、上記側壁 5 の下端縁部を形成するインナパネル 9 のうち、上記フロアパネル 4 よりも上側の部分 9 a とにより構成される。

50

【 0 0 2 7 】

上記アンカ 3 1 は、上記車室下部パネル 4 2 の外側縁部から車室 3 内の上方に向かって突出するよう設けられている。具体的には、上記アンカ 3 1 は、水平に延び、上記車室下部パネル 4 2 の外側縁部の一部を構成する上記フロアパネル 4 の外側縁部 4 a の上面に前記締結具 3 0 の締結により結合される基板 4 3 と、この基板 4 3 から一体的に上方に突出する板形状の突出部 4 4 とを備え、この突出部 4 4 に上記シートベルト 3 4 の一端部が連結されている。

【 0 0 2 8 】

上記車室下部パネル 4 2 の外側縁部は、上記フロアパネル 4 の外側縁部 4 a と、上記インナパネル 9 の部分 9 a とにより構成されている。上記車室下部パネル 4 2 の外側縁部を覆い、上記アンカ 3 1 の突出部 4 4 を上方に向けて貫通させる開口 4 6 が形成された樹脂製のトリム 4 7 が設けられている。

10

【 0 0 2 9 】

具体的には、上記トリム 4 7 は、上記インナパネル 9 の部分 9 a を含む後ドア開口 1 2 の下部開口縁部、およびこの下部開口縁部に連なる上記フロアパネル 4 の外側縁部 4 a を一体的に覆うスカッフプレート 4 8 と、上記インナパネル 9 の部分 9 a を含む後ドア開口 1 2 の後部開口縁部、およびこの後部開口縁部に連なる上記フロアパネル 4 の外側縁部 4 a を一体的に覆うクォータパネル 4 9 とを備えている。

【 0 0 3 0 】

上記スカッフプレート 4 8 とクォータパネル 4 9 とは互いに別体とされ、上記スカッフプレート 4 8 は前記締結具 2 3 によりシートレール 2 4 と共にフロアパネル 4 の外側縁部 4 a に共締めされている。また、上記クォータパネル 4 9 はグロメット式の固着具 5 0 により上記フロアパネル 4 の外側縁部 4 a に固着されている。上記開口 4 6 は、上記スカッフプレート 4 8 とクォータパネル 4 9 との互いの対向縁部の間に形成されている。

20

【 0 0 3 1 】

上記フロアパネル 4 の上面に、この上面のほぼ全体にわたり梨地模様で示したカーペット 5 1 が敷設されている。具体的には、上記車室下部パネル 4 2 の上面であるフロアパネル 4 の上面のうち、その外側縁部 4 a を除く部分に全体的に上記カーペット 5 1 が敷設されている。

【 0 0 3 2 】

上記車室下部パネル 4 2 の外側縁部と上記トリム 4 7 との間に上記カーペット 5 1 から延設された一部分 5 1 a が介設されている。このカーペット 5 1 の一部分 5 1 a には、上記アンカ 3 1 の突出部 4 4 を上方に向かって貫通させるスリット形状の貫通口 5 2 が形成されている。

30

【 0 0 3 3 】

上記の場合、開口 4 6 は、そのほぼ全体がその下方から上記カーペット 5 1 の一部分 5 1 a により閉じられている。また、上記突出部 4 4 を貫通させた貫通口 5 2 の開口面積は、上記突出部 4 4 の断面積とほぼ同じとされている。このため、上記アンカ 3 1 の基板 4 3 と締結具 3 0 とはほぼ全体がその上方から上記カーペット 5 1 の一部分 5 1 a により覆われている。

40

【 0 0 3 4 】

上記構成によれば、車室下部パネル 4 2 の外側縁部と上記トリム 4 7 との間に上記カーペット 5 1 の一部分 5 1 a を介設し、このカーペット 5 1 の一部分 5 1 a に上記アンカ 3 1 の突出部 4 4 を貫通させる貫通口 5 2 を形成している。

【 0 0 3 5 】

このため、上記車室下部パネル 4 2 に対するシートベルト 3 4 用アンカ 3 1 の結合部が車室 3 内から容易に見えることは、上記カーペット 5 1 の一部分 5 1 a によって防止される。よって、この車室 3 の見栄えが向上する。

【 0 0 3 6 】

また、上記したアンカ 3 1 の結合部が車室 3 内から容易に見えないようにすることは、

50

車室下部パネル 4 2 の上面であるフロアパネル 4 の上面に敷設されるカーペット 5 1 の一部分 5 1 a を利用したものであることから、部品点数の増加が抑制される。よって、上記車室 3 の見栄えの向上は簡単な構成で達成される。

【 0 0 3 7 】

なお、以上は図示の例によるが、上記リヤシート 2 0 のシートベルト装置 2 9 の具体的な構成を上記フロントシート 1 9 や他のリヤシート 2 1 のシートベルト装置 2 9 に適用してもよい。また、上記スカッフプレート 4 8 とクォータパネル 4 9 とは互いに一体的に形成したものであってもよい。また、上記貫通口 5 2 は長孔形状や切り欠き形状にしてもよい。

【 0 0 3 8 】

以下の図 4 は、実施例 2 を示している。この実施例 2 は、前記実施例 1 と構成、作用効果において多くの点で共通している。そこで、これら共通するものについては、図面に共通の符号を付してその重複した説明を省略し、異なる点につき主に説明する。また、これら実施例における各部分の構成を、本発明の目的、作用効果に照らして種々組み合わせてもよい。

【 実施例 2 】

【 0 0 3 9 】

本発明をより詳細に説明するために、その実施例 2 を添付の図 4 に従って説明する。

【 0 0 4 0 】

図 4 において、上記アンカ 3 1 は、上記車室下部パネル 4 2 のうち、上記インナパネル 9 の部分 9 a に結合されている。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 4 1 】

【 図 1 】 実施例 1 を示し、車室下部の部分斜視図である。

【 図 2 】 実施例 1 を示し、車両内部の全体斜視側面図である。

【 図 3 】 実施例 1 を示し、図 1 に示したものの展開図である。

【 図 4 】 実施例 2 を示し、図 1 に相当する図である。

【 符号の説明 】

【 0 0 4 2 】

- 1 車両
- 2 車体
- 3 車室
- 4 フロアパネル
- 4 a 外側縁部
- 5 側壁
- 8 アウタパネル
- 9 インナパネル
- 9 a 部分
- 2 0 リヤシート
- 2 9 シートベルト装置
- 3 0 締結具
- 3 1 アンカ
- 3 4 シートベルト
- 4 2 車室下部パネル
- 4 3 基板
- 4 4 突出部
- 4 6 開口
- 4 7 トリム
- 4 8 スカッフプレート
- 4 9 クォータパネル

10

20

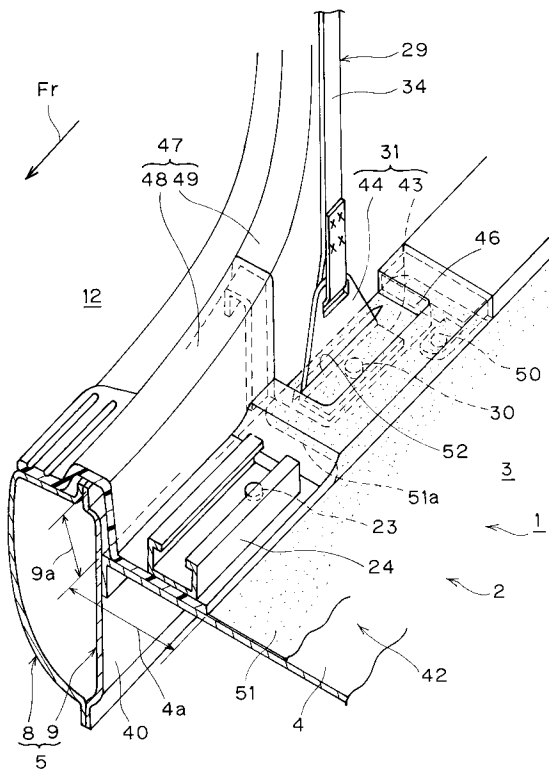
30

40

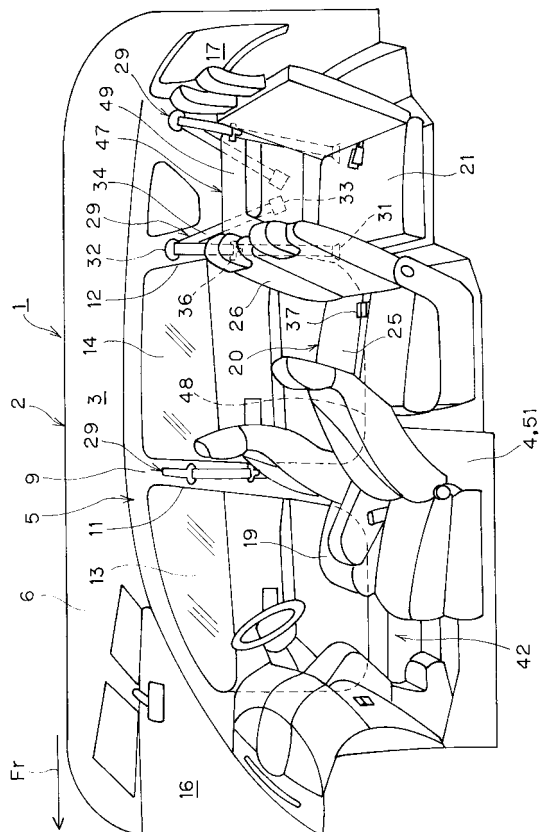
50

- 5 1 カーペット
- 5 1 a 一部分
- 5 2 貫通口

【図 1】



【図 2】



【图 4】

